

大会 第5日(準決勝の展望)

● ピン級

第254試合『定廣(京都) vs 山下(福岡)』

テクニックの定廣と、思いきりのよい山下の対戦である。両者とも勢いがあり、僅かなヒット差で試合が決まる互角の展開が予想される。

第255試合『金谷(宮崎) vs 平井(石川)』

お互い得意な距離が違っており、戦う位置で流れが変わる。同時に両者の主導権争いが勝敗を分ける鍵になるであろう。

● ライトフライ級

第256試合『大木(静岡) vs 中山(福岡)』

左構えの大木と右構えの中山は、ともに長身のボクサータイプである。互いのストレートが試合を決める緊張感のある神経戦が予想される。

第257試合『山口(大阪) vs 木村(兵庫)』

完成度の高いボクシングを展開する山口に対して木村はバネの利いたアグレッシブな攻撃を見せる。序盤の攻防が試合の流れを決めると思われる。

● フライ級

第258試合『吉良(奈良) vs 河本(福岡)』

試合巧者の吉良に対し、本大会調子を上げている河本の戦いである。自らのスタイルを貫いた方が勝利となる。熱戦がなることは間違いない。

第259試合『小池(東京) vs 山下(宮崎)』

サウスポー同士の対戦である。勝負の決め手はリードパンチと思われる。右を巧みに使った方が流れを引き寄せると見る。

● バンタム級

第260試合『坂井(兵庫) vs 高橋(東京)』

坂井のテンポ良い動きは身体能力の高さを感じる。高橋も長い距離での戦いにセンスを感じる。二人の戦う距離や攻撃が読めない一戦である。

第261試合『中山(福岡) vs 浅井(大阪)』

ロングレンジでの戦いに長けた中山に対して、柔軟な動きで当て勘の良い浅井である。審判にアピールできるクオリティブローが勝敗を分ける。

● ライト級

第262試合『本間(北海道) vs 宮崎(広島)』

選抜徳島大会の再戦である。選抜では3-2で宮崎が勝利しており二人の力は拮抗している。わずかな隙が試合を大きく左右する。

第263試合『森貞(愛媛) vs 山川(宮崎)』

山川は強敵の中村を破り勢いづく。森貞は1回戦から安定した戦いで勝ち上がった。よく似たタイプの二人であるが、先手争いが鍵を握る。

● ライトウェルター級

第264試合『六井(新潟) vs 松久(福岡)』

両者とも難敵を相手に苦戦の末、準決勝に駒を進めた。六井がフットワークを使い、松久が追う展開と想像できる。最後まで予断を許さない接戦と見る。

第265試合『八木(福井) vs 大園(鹿児島)』

両者とも関東王者を撃破して準決勝に勝ち上がった。軽い動きから強いパンチを繰り出す大園に対して、スピードと手数に優れた八木の戦いである。

● ウェルター級

第266試合『淵上(愛媛) vs 梶野(大阪)』

サウスポーの淵上は多彩な右パンチが有効であり、梶野はよく動き手数も多い。両者の戦いは一步も引かない打ち合いになることが予想される。

第267試合『和田(福井) vs 増田(新潟)』

サウスポー同士の戦いである。選抜徳島大会覇者の増田であるが、和田も今大会は好調である。和田のリードと増田のパワーに注目したい。

● ミドル級

第268試合『瀬井(宮崎) vs 市村(栃木)』

テクニックの瀬井に対し、恵まれた体格で圧をかけて戦う市村。両者の意地がぶつかる戦いは、迫力満点の攻防が予想される。

第269試合『川村(北海道) vs 羽賀(新潟)』

準々決勝を初回 RSC で勝ち進んだハードパンチャー同士の戦い。初回から打ち合いが予想され、重量級らしい迫力のある試合を期待する。